

今年度お勤め助成金PR

65歳超雇用と働き方改革2種類

豊川・アンフィールド

助成金活用の支援に力を入れる社会保険労務士法人「An-field(アンフィールド)」(豊川市牛久保駅通4、熊谷篤代表社員)は、今年度のお勤め助成金として、「65歳超雇用推進助成金～65歳超継続雇用促進コース」と「働き方改革推進支援助成金～労働時間短縮・年休促進支援コース」をPRする。【竹下貴信】



お勤めの助成金のチラシを持つ熊谷代表

「65歳超雇用」のコースは、65歳以上への定年の引き上げや定年制度の廃止、希望者全員を対象とする66歳以上の継続雇用制度を導入することで受給できる。1年以上継続雇用している60歳以上の雇用保険に加入している社員が1人以上いれば対象になり、最大120万円が出る。

「働き方改革」のコースは、ポランテア休暇

や時間単位の年次有給休暇制度などを導入するために実施した設備投資に対して最大8割の助成金(組み合わせにより上限100万円)が出る。休暇を取得するために必要な労働能率を上げるための設備投資が対象で、飲食店だと食洗機、建設業だとタンクカーなどが対象になる。

熊谷代表は「助成金を活用して、社員が長く働け、休みが取得しやすくなる環境を整えてください。まずは無料相談を」とPRする。問い合わせはアンフィールド(05333・74・3962)へ。

新事務所 相談しやすく

アンフィールドは6日、事務所を豊川市牛久保駅通4の20の「NAVIC」2階に移転した。

これまでの事務所比べ、談室を設けてプライバシーを確保した。

東愛知新聞 令和3年5月7日